

令和6年度 八千代中学校 学校評価シート【年度末】（全体）

学校教育目標

選択肢の数値換算標準

よくあてはまる：5
（よく思う）

あてはまる：4
（やや思う）

あまりあてはまらない：2
（あまり思わない）

まったくあてはまらない：1
（まったく思わない）

評定指標

A：達成している（達成値が4.0以上4.5未満） B：おおむね達成している（達成値が3.5以上4.0未満）
C：あまり達成していない（達成値が3.0以上3.5未満） D：達成していない（達成値が3.0未満）

「 優しく、賢く、逞しく 」 ～ 未来を切り拓く生徒の育成 ～												本年度の重点目標 「 組織で協議し、組織で徹底する ～各種委員会、担当者会の活性化～ 」													
学校自己評価（達成状況）【 A：達成している B：おおむね達成している C：あまり達成していない D：達成していない 】																								学校関係者評価	
観点		項目		教職員		保護者		生徒		昨年度 達成値		今年度評価（点数は評価指標の平均）		取組（達成）の状況		課題と改善方策		学校自己評価及び改善方策の適正さの評価							
(1)いのちと人権を守る教育	①確かな生徒理解に基づく生徒指導	①教育相談等を通じて、一人ひとりの生徒の内面を共感的に理解し、信頼関係に基づいた指導に努めている		②学校は、お子さんの声に耳を傾け、適切な指導をしている		②先生は、自分の悩みに耳を傾け、丁寧に指導されている		3.9	4.2	0.3	4.4	4.1	4.1	A	A 4.1	○達成している状況である。 ・ (1)①の「確かな生徒理解に基づく生徒指導」については、他の項目に比べて、生徒の数値が若干低い傾向にある（1・2年生）。 ・ (1)④の「不登校支援の充実」については、昨年度と同等の数値となっている。 ・ (1)⑤の「危機管理体制の確立と安全の確保」については、昨年度と比較して教員評価の数値が大きく下降している。 ・ (1)④の「専門機関・関係機関との連携」については、教員評価の数値が昨年度より低くなっている。	・ 特別支援教育については、教職員の理解に違いがある。特別支援学級の生徒及び通常学級に在籍する支援を要する生徒への個別支援については、継続的な研修や日頃からの情報交換の充実が必要である。 ・ 不登校支援については、支援教員の配置により支援体制が充実し、成果をあげている。 ・ 危機管理体制の確立と安全の確保については、特に問題が生じたわけではないが、職員の意識として日頃からのさらなる呼びかけや確認が必要である。 ・ 専門機関・関係機関との連携については、充実してきている。職員間での情報共有を強化する必要がある。	・ 学校の活動としては全体的に評価できる。不登校対策については、関係機関や専門家と連携して取組を進めること。 ・ 危機管理意識や関係機関との連携などについては、積極的に教職員と情報共有を図るなど、周知方法に工夫を加えること。 ・ 危機管理の連絡体制の確立を図ること。							
	②いじめの未然防止・組織的対応	②いじめ防止基本方針に基づき、迅速かつ組織的な対応に努めている また、生徒支援カルテシステムによるきめ細やかなサポートに努めている		③学校は「いじめを許さない」という姿勢で早期発見に努めるとともに、保護者と連携をとりながら適切に指導を行っている		③先生は、いじめは許さないという姿勢のもと、いじめが発生した場合は、適切に指導されている		4.2	4.2	0.0	4.2	4.1	4.3	A											
	③特別支援教育の充実	③個々の生徒の発達特性を理解し、個別のニーズに応じて個別支援にあたっている						4.0	3.8	-0.3	3.8			B											
	④不登校支援の充実	④不登校傾向の生徒に対して、組織的に適切な支援を行っている						4.5	4.4	-0.1	4.4			A											
	⑤危機管理体制の確立と安全の確保	⑤「初期対応が全て」「危機管理のさしすせそ」の意識のもとに対応している また「報・連・相」の徹底を図っている						4.5	3.8	-0.7	3.8			B											
	⑥専門機関・関係機関との連携	⑥学校だけでは指導困難な生徒支援にあたり、専門機関や関係機関と連携して取り組んでいる						4.5	4.2	-0.4	4.2			A											
(2)豊かな心	①温かい人間関係づくりの推進 (1)	①生徒一人ひとりの居場所がある学級づくりに努めている		①お子さんは、学級で楽しく過ごしている		①学級で楽しく過ごしている		4.1	4.2	0.1	4.2	4.1	4.4	A	A 4.1	○達成している状況である。 ・ (2)①「温かい人間関係づくりの推進 (1)」と②「温かい人間関係づくりの推進 (2)」については、昨年度より数値が上昇している。特に、生徒の評価が高い。 ・ (2)⑨「ふるさとを誇りに思う心の育成」については、教職員のふるさと教育への取組の数値が低い傾向にあるものの、生徒の数値は高い傾向にある。	・ 人権教育については、人権教育コア・カリキュラムに基づいた系統的な指導体制を構築している。研修等の実施により、職員の意識の高揚が必要である。 ・ キャリア教育について、1年生職業調べとふるさとキャリア教育、2年生トライやるウィーク、3年生進路学習という中学校3年間を通じたキャリア教育の推進体制が整っている。 ・ 進路指導については、教員はキャリア教育の視点から考えるが、生徒や保護者は、高校進学（高校入試）の視点から考えることが多く、捉え方にズレがある。面談で指導を進めていく必要がある。 ・ ふるさと教育の項目では、数値的に改善している。中学生ボランティア等への参加者も増えてきている。地域の方を講師に招いての学習も増えている。その反面、教職員の数値が低く出ている。多可町ふるさと教育ガイドラインの活用等により、ふるさと教育の視点を大切にして取組を進めたい。	・ 生徒も保護者も学校で楽しく過ごしているという意見が増えていることは良いこと。学校行事にも意欲的に取り組んでいる様子がわかる。 ・ キャリア教育に関し働くことや将来の夢についての意識が生徒より保護者が低くなるのは、期待の裏返しでもある。家庭で対話が進むような取組も必要である。							
	②温かい人間関係づくりの推進 (2)	②特別活動に、生徒一人ひとりが主体的に取り組み、自立性や社会性を育めるよう計画し、実践している		④お子さんは、学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる		④学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる		4.1	4.3	0.2	4.3	4.2	4.4	A											
	③人権意識の向上 (1)	③「人権教育コアカリキュラム」を基盤として、すべての教育活動を通じて、自尊感情や他者への思いやり等の人権意識の向上に努めている		⑤お子さんは、自分のことや他人のことを大切にしている		⑤自分のことや他人のことを大切にしている		4.3	4.2	-0.1	3.8	4.2	4.5	A											
	④人権意識の向上 (2)	④いじめめとは何かを理解させ、いじめにつながらないように、相手の気持ちを考えながら生活するよう指導している				⑥いじめにつながらないように、相手の気持ちを考えながら、生活している		4.3	4.2	-0.1	4.0		4.4	A											
	⑤道徳教育の充実 (1)	⑤社会生活を送る上で必要な規範意識を育む教育実践に努めている		⑥お子さんは、社会のきまりやマナーなどを守って生活している		⑦社会のきまりやマナーなどを守って生活している		4.3	4.3	0.0	4.3	4.2	4.5	A											
	⑥道徳教育の充実 (2)	⑥道徳の授業を確保し、指導方法の工夫改善に努めている		⑧道徳の授業に一生懸命取り組んでいる		⑧道徳の授業に一生懸命取り組んでいる		4.0	4.2	0.2	4.1		4.2	A											
	⑦キャリア教育の推進 (1)	⑦「トライやる・ウィーク」をはじめとする体験活動等を通じて、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てるキャリア教育の充実に努めている		⑦お子さんは、働くことの意義を理解し、将来の夢や目標の実現に向けて努力している		⑧働くことの大切さを理解し、将来の夢や目標の実現に向けて努力している		3.9	3.9	0.0	4.1	3.4	4.2	B											
	⑧キャリア教育の推進 (2)	⑧生徒の将来を見通した長期的な視点に立った上で、学年に応じた柔軟性のある進路指導を行っている		⑧学校は、学年に応じた適切な進路指導を行っている		⑧卒業後の進路について、目標を持っている		4.0	4.1	0.1	4.1	4.1	4.0	A											
	⑨ふるさとを誇りに思う心の育成	⑨教科や道徳、特別活動や総合的な学習の時間（ふるさとキャリア教育、東久留米交流、トライやるウィーク、グリーンキャンペーン等）の指導を通して、ふるさとを愛し、誇りに思う気持ちを育てるよう指導している		⑩多可町（八千代）が好きである		⑩多可町（八千代）が好きである		3.9	4.0	0.1	3.9		4.1	A											
(3)確かな学力	①学力向上（授業改善）	①授業内容が理解できるよう、工夫して授業を行っている		⑨お子さんは、学校の授業の内容が理解できている		⑨学校の授業の内容が理解できている		3.9	3.8	-0.1	4.3	3.4	3.8	B	B 3.8	○概ね達成している状況である。 ・ (3)①「学力向上（授業改善）」については、昨年度より数値が上昇している。授業内容の理解という点で、生徒、保護者ともに評価が低くなっている。 ・ (3)③「ユニバーサルデザインの授業」については、昨年度より大きく数値が上昇している。 ・ (3)④「主体的・対話的で深い学び (1)」については、昨年度に比べて数値が上昇している。 ・ (3)⑧「読書活動の充実」については、教員の数値が上昇し、保護者の数値が低くなっている。トータルでは昨年度と同様の数値となった。 ・ (3)⑨「家庭学習の習慣化」については、生徒、保護者の数値が低くなっている。	・ 特に課題が見られるのが、授業の理解、家庭での読書、家庭学習の3つである。 ・ 職員により授業力に違いがある。多可町授業づくりスタンダード10ポイントに基づき、引き続き授業改善の取組が必要である。 ・ 家庭学習については、各教科において取組が様々である。新研究には計画的に取り組めた。スタディサプリについては学力が高い生徒ほど家庭学習で取り組む傾向にある。 ・ 学力に自信がない生徒が多い傾向にある。学びを定着させるためにも、予習・復習が必要（特に復習）であるが、自分一人で学習を進める力が弱い。生活ノートに家庭学習の時間を記録する等、家庭での時間の使い方についてマネジメントするよう指導しているが、効果があまり見られない。 ・ 読書については、学校司書を配置し、火～木曜日、放課後に図書室を開放しており、読書環境は大幅に改善した。朝の学習の時間に、1・2年生では週1回程度実施している。家庭で本を手にとる機会を少しでも設けるためには、ネット利用のありかた等、保護者との連携が必要である。	・ 授業改善が徐々に進んでいることは評価できる。教師の授業力を上げるために、お互いの授業を見合う研修をすること。 ・ 家庭学習等、一人で取り組む力が弱いところが気になる。興味や目標を持って、主体的に取り組めるように、意識を高めていく必要がある。 ・ 家庭での読書については、保護者が把握できていない部分もあるかもしれない。紙の書籍だけでなく、電子の物も含めれば増加する可能性がある。							
	②学力向上（基礎基本）	②朝の学習にしっかりと取り組ませ、学力向上に努めている		⑩朝の学習にしっかりと取り組んでいる		⑩朝の学習にしっかりと取り組んでいる		4.3	4.3	0.0	4.3		4.3	A											
	③ユニバーサルデザインの授業	③「ユニバーサルデザイン」の視点に立ち、共通した授業スタイルにより、すべての生徒にとってわかりやすい授業になるように工夫している		⑪授業では、「めあて」や「授業の流れ」が示されている		⑪授業では、「めあて」や「授業の流れ」が示されている		4.0	4.3	0.3	4.1		4.5	A											
	④研究推進	④研究テーマ「将来の目標達成に向け、マネジメントできる生徒の育成」のもと、研究・研修体制を確立し、研究授業や職員研修の充実を図り、各自の資質・能力の向上に努めている						3.5	4.1	0.6	4.1			A											
	⑤主体的・対話的で深い学び (1)	⑤授業の中で、ペアやグループで話し合ったり、協力して課題を解いたりすることに積極的に取り組ませている		⑤授業の中で、ペアやグループで話し合ったり、協力して課題を解いたりすることに積極的に取り組んでいる		⑥授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動に取り組んでいる		4.1	4.2	0.1	4.0		4.4	A											
	⑥主体的・対話的で深い学び (2)	⑥授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動を通して、学習の深化を図っている		⑥授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動に取り組んでいる		⑦授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動に取り組んでいる		3.7	3.9	0.2	4.1		3.8	B											
	⑦ICTの活用	⑦授業の中で、積極的にクロームブックやデジタル教科書等の活用を図っている		⑧授業では、クロームブックやデジタル教科書などを活用している		⑧授業では、クロームブックやデジタル教科書などを活用している		3.4	3.2	-0.2	3.3		3.1	C											
	⑧読書活動の充実	⑧生徒が読書に励むよう、積極的に働きかけを行っている		⑩お子さんは、家庭で本を読むことがある		⑩図書室を利用したり、家で本を読むことがある		2.9	2.9	0.0	3.7	2.3	2.7	D											
	⑨家庭学習の習慣化	⑨スタディサプリやワーク・問題集、テスト計画表等を活用して、生徒の自主的・計画的な学習の充実を図っている		⑩お子さんは、ワーク・問題集やスタディサプリ等を活用して、家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる		⑩ワーク・問題集やスタディサプリ等を活用して、家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる		3.5	3.2	-0.3	3.4	3.0	3.3	C											
(4)健やかな体	①基本的な生活習慣の確立	①正しい生活習慣や食習慣を身に付けさせ、自らの健康管理ができる生徒の育成に努めている		②お子さまは、正しい生活習慣や食習慣が身に付いている		②正しい生活習慣や食習慣に気を付けて生活している		3.6	3.9	0.3	3.8	3.9	4.1	B	B 3.8	○概ね達成している状況である。 ・ (4)②と③基本的な生活態度の確立（挨拶）（時間）については、昨年度より数値が上昇している。 ・ (4)⑤基本的な生活態度の確立（メディア）」については、引き続き低い数値となっている。保護者評価の数値が低くなっている。	・ 清掃において、生徒と教職員の意識にズレがある。生徒なりにがんばっている部分を認めることや、教職員も意識的に重点をおいて指導する必要がある。 ・ タブレットやスマホ等、家庭でのメディアへの向き合い方については、メディアリテラシーの講演会の開催、情報モラル学習を実施しているが、家庭での使い方については、なかなか改善に至っていない。家庭での取組改善が急務である。 ・ 部活動については、積極的に参加している生徒が大半である。生徒数の減少により、運営が厳しくなっている現状がある。多可郡新人大会では、部員が少ない場合は、多可町内の中学校との合同チームを編制している。	・ B評価が多いものの、数値が上昇している取組が多く、良い方向に向かっている。 ・ 家庭でのメディアへの向き合い方については、ルールを厳しめに設定していることも考えられ、保護者の意識の高さも一つの要因と感じられる。							
	②基本的な生活態度の確立（挨拶）	②挨拶の指導を徹底している（いつでも、どこでも、だれとでも、目を合わせて）		③お子さんは、家庭や地域でしっかりとあいさつをしている		③あいさつがしっかりできている（いつでも、どこでも、だれとでも、目を合わせて）		3.6	3.8	0.2	3.5	4.1	4.0	B											
	③基本的な生活態度の確立（時間）	③時間を守るよう指導を徹底している		④学校で時間を守って生活している		④学校で時間を守って生活している		4.3	4.4	0.0	4.2		4.6	A											
	④基本的な生活態度の確立（清掃）	④無言清掃で時間いっぱい清掃するよう指導を徹底している		⑤無言清掃で、時間いっぱい一生懸命、掃除をしている		⑤無言清掃で、時間いっぱい一生懸命、掃除をしている		3.8	3.8	0.0	3.5		4.2	B											
	⑤基本的な生活態度の確立（メディア）	⑤メディア（テレビ、タブレット、スマホ等）の適切な使い方について、指導している		⑥お子さんは、家庭で作成したルールを守り、テレビやタブレット、スマホなどけじめをつけて、見たり使ったりしている		⑥家庭で作成したルールを守り、テレビやタブレット、スマホなどけじめをつけて、見たり使ったりしている		3.3	3.3	0.0	3.5	2.8	3.5	C											
	⑥部活動	⑥生徒が自主的に活動し、挑戦する楽しさや喜びを味わうことのできる部活動の運営を心がけている		⑥お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる（お子さまが部活動に所属している人のみ）		⑥部活動は充実した活動になっている（部活動に所属している生徒のみ）		3.9	3.9	-0.1	3.7	3.9	4.0	B											
(5)信頼される学校	①信頼される教師集団	①保護者からの相談・要望に対し、誠実な対応を行っている また、生活指導上の問題点等については、保護者との情報共有を迅速、かつ、適切に行っている		①学校は、保護者の皆様からの相談・要望に対し、誠実に対応している		②先生は困ったときには、親身になって、相談に乗ってくださる		4.1	4.3	0.1	4.4	4.2	4.2	A	A 4.3	○達成している状況である。 ・ (5)①「信頼される学校」において、生徒の数値は昨年 に比べて上昇した。学年や学級間の数値のばらつきは大きい ・ (5)③「学校満足度」について、昨年度より数値が上昇している。	・ 相談等については、教員は尽力しているが、生徒の感じ方との間に差がある。生徒のSOSをキャッチする力、傾聴の力など、教員の力量アップを図りたい。また、学級担任任せにせず、学年団を中心に「みんなで育てる」という意識で、組織的に声かけを行いたい。	・ 信頼される学校についての評価が上昇している。引き続き、取組を進めてほしい。							
	②積極的な公開・情報提供	②学校HPや通信等を通じて、保護者・地域への積極的な情報公開・提供に努めている		②学校は、HPや通信等を通じて、保護者の皆様に教育活動内容を積極的に公開し、わかりやすく伝えられている		②配布プリント（学年通信、学級通信、陽光、案内文書など）を必ず家の人に渡している		4.4	4.4	0.0	4.6	4.3	4.4	A											
	③学校満足度	③学校満足度		③八千代中学校の教育に満足している		③八千代中学校が好きである		4.0	4.2	0.2		4.1	4.2	A											
(6)働きがいのある学校	①学校組織運営	③「学校経営方針」のもと、組織の一員として、密な情報交換を行いながら、能動的・創造的に教育活動にあたることができている						4.2	4.1	0.0	4.1			A	B 3.6	○概ね達成している状況である。 ・ (6)②「勤務時間の適正化」③「明るく風通しの良い職場づくり」④「ワーク・ライフ・バランス」については、教員評価の数値が昨年度に比べて、低くなっている。	・ タイムマネジメントを意識してできるだけ効率的に業務を行おうとする意識があるが、職員によって意識に差がある。 ・ 超過勤務については、個人差が大きい。良い教育をしようと思えばどうしても時間がかかる。保護者と連絡をとりあえば、どうしても勤務時間が遅くなる傾向にある。事務仕事を効率よく進め、生徒と向き合う時間を確保したい。 ・ 年次休暇の計画的な取得について年度初めに呼びかけているが、職員は必要に応じて取得している状況である。	・ 働き方にメリハリをつけるなど、コミュニケーションを図りながら、教職員が気持ちよく働くことができる環境づくりを進めてほしい。 ・ 教職員に元気な言葉があれば生徒にも影響が出る。 ・ 人員配置についても積極的に要望してほしい。							
	②勤務時間の適正化	④定時退勤日の完全実施、タイムマネジメントを意識した効率の良い職務の遂行に努めている						3.5	3.2	-0.3	3.2			C											
	③明るく風通しの良い職場づくり	⑤あらゆるハラスメントのない、風通しの良い職場環境である						4.3	4.0	-0.3	4.0			A											
	④ワーク・ライフ・バランス	⑥年次休暇を計画的に取得している						3.7	3.1	-0.6	3.1			C											